

# 2024 年度 トランスパーソナル心理学/精神医学会 第 24 回学術大会

## トランスパーソナルのまなざし

大会長 中川 吉晴

大会実行委員 藤本 晃 石川 勇一 戸田 千枝

日程 2025年3月1・2日（土・日）（対面開催）

会場 同志社大学 今出川校地 新町キャンパス（下記ホームページを参照）

京都市上京区（京都市営地下鉄今出川駅下車 西へ徒歩 10 分程度）

新創館 1 階 アカデミック・プラザ

[https://www.doshisha.ac.jp/information/imadegawa/shinmachi\\_map/index.html](https://www.doshisha.ac.jp/information/imadegawa/shinmachi_map/index.html)

大会参加の申し込みは、専用ホームページ内の「申し込みフォーム」よりお願い致します。

<https://2024jatp.wixsite.com/my-site-3>

### 第1日目 3月1日（土）

12 時～13 時 理事会 2階会議室

12 時 00 分 開場

13 時～15 時 大会企画 初期仏教に基づく対人援助の試み

講演 石川勇一先生 本学会副会長 相模女子大学

「初期仏教のダンマと瞑想と心理療法の統合的アプローチ（ダンマ・セラピー）の概要と実際」（60 分）

[事例の提示を含む]

マインドフルネス心理療法が普及しているが、その目的は心身の疾患の予防・治療やストレス軽減、健康増進などである。一方で初期仏教の瞑想法とダンマ（法、真理、教え）は、すべて解脱を目指すものであり、目的が異なっている。ブッダが説いた覚りは、神秘体験、神や真我との合一、非二元に達することではなく、煩惱から完全に自由になることによるのみ達成される。トランスパーソナルな成長や覚りに向かうためには、煩惱からの解脱が不可欠であり、ブッダのダンマと瞑想法は解脱を達成するための完成された体系である。このような初期仏教のダンマと瞑想法に心理療法を統合したダンマ・セラピーを演者は独自に提唱し、実践を試みている。今回はダンマ・セラピーの概要、試みの実際、特徴、可能性と限界について紹介したい。

休憩（10 分）

指定討論 1：藤本晃先生（パリ聖典の専門家・僧侶）（20 分）

指定討論 2：山本和美先生（西京都病院、臨床心理士、公認心理師）（20 分）

フリーディスカッション(10 分)

15 時 30 分～17 時 30 分 基調講演 ハナムラ チカヒロ先生 司会 藤本晃先生

「まなざしのデザインから考えるこの先の世界」

ハナムラチカヒロ先生

大阪公立大学准教授。現代システム科学研究科にて自然科学・社会科学・人間科学を横断する総合知の研究教育に携わる。ランドスケープデザインをベースに対象の見方を変えるトランススケープ論を専門とし、環境デザインや現代アート制作、映像制作まで幅広い芸術実践を行う。大阪赤十字病院での空間アート「霧はれて光きたる春」で日本空間デザイン大賞受賞。著書は、『まなざしのデザイン』（NTT出版／日本造園学会賞受賞）、宗教学者鎌田東二氏との共著『ヒューマンスケールを超えて』（ぷねうま舎）、『まなざしの革命』（河出書房新社）。十代の哲学カフェ「ヒトの学校」も主催する。

（懇親会はおこないませんが、ハナムラ先生を囲む小規模の会食を予定しています。人数に限りがありますので参加希望の方は事前にお申し出ください）

## 第2日目 3月2日（日）

9時～9時40分 研究発表

司会 未定

ホール会場

発表1-1 富田俊明先生 佐賀大学芸術地域デザイン学部

「イメージの〈出現〉と「私」の変容——大学における絵画・現代美術の制作指導の試み」

9時40分～10時20分

ホール会場

発表2-1 飯塚まり先生 同志社大学ビジネス研究科

「ビジネス・経営学とスピリチュアリティ」

教室会場

発表2-2 前田 青也先生 大阪大学基礎工学研究科物質創成招聘研究員

「量子物理学方面からの「ユング共時性」の背景構造の提示」

10 時 30 分～12 時 学術講演 金菱哲宏先生 大阪大学ほか講師、がらん洞ヨーガ教室主宰

## 「ヨーガにおける哲学的思想体系—一元論／二元論の境界を越えて」

昨年は「ヨーガの目指すところ」と題して、ケン・ウィルバーのスペクトル理論と比較対照しながら、ヨーガ実践において切り開かれる心理的地平を検証していった。その際に主に依拠したのが古典ヨーガ学派の根本経典である『ヨーガスートラ』であった。だが、この経典はその思想的土台としてサーンキヤ学派の二元論に依って立つところが大きい。ウィルバーのスペクトル理論にあっては、原初の二元論を乗り越えた先にある究極の一元論的境地をその出発点／到達地点とするものであるが、一元論的思考とヨーガ／サーンキヤ学派の説く二元論がどのような点で対立し、また共鳴し合うものであるのかを検証していく。さらにヨーガの実践においてこのような思想体系がもつ意味合いをも考察していく。

### 昼休憩

13 時 15 分～13 時 30 分 総会 ホール会場

13 時 30 分～14 時 10 分 研究発表

司会 未定

ホール会場

発表3-1 塚崎直樹先生 本学会副会長 公益社団法人京都精神保健福祉推進家族会連合会

「修行と夢分析の関連について—玉城康四郎の体験を素材として考える—」

14 時 30 分～16 時 ラウンドテーブル

「補完療法を活用した京都光華女子大学の取り組み—靈氣体験をしてみよう！」

中平みわ先生 京都光華女子大学健康科学部看護学科

司会 戸田千枝先生 四天王寺大学看護学部

靈氣（レイキ）とは、中国の気功やアメリカのヒーリング・タッチ（国家資格）と同様に、エネルギー（気）を活用した療法の一つです。靈氣では、施術者が対象者の体に軽く触れるか、またはその近くに手をかざし、靈氣エネルギーを流すことでエネルギーバランスを整え、自然治癒力を促進するとされています。靈氣は西洋医学を補完する目的で利用されています。アメリカでは800の病院のうち15%が靈氣を提供しているという調査結果があり、非常に人気のある補完療法です。例えば、ペンシルバニア大学医学部のがんセンターでは、治療の副作用やストレスの緩和、また家族へのケアの一環として靈氣が広く利用されており、患者や家族から高い支持を得ています。ハーバード大学の大規模な研究でも、靈氣によって疼痛やストレスの軽減が有意に改善したとの結果が示されています。

このように欧米で注目されている靈氣ですが、実は日本、しかも京都発祥の療法であることは日本国内ではあまり知られていません。今回は、靈氣セラピストが皆様の頭部や肩、不調を感じる部位に靈氣エネルギーを流す体験をしていただきます。この機会に、靈氣の穏やかで心地よいエネルギーを感じてみてください。

大会用連絡先

第 24 回学術大会事務局 2024jatp@gmail.com

**【参加費】**

予約参加

会員（学術・一般） 4,000 円 非会員 6,000 円

学生会員 2,000 円 非会員学生 3,000 円

領収書の郵送を希望する方は申し込みの際、申込みフォームに住所を記入してください。

当日参加 各1000円プラス

会員（学術・一般） 5,000 円 非会員 7,000 円

学生会員 3,000 円 非会員学生 4,000 円

ハナムラ氏の講演のみの参加（会員・非会員問わず） 1,000 円

（予約なしの当日参加も同額で受け付けます）